

I 2021 年度事業計画・収支予算

1. 2021 年度 重点事項

- (1) 没後 90 年となる今もなお、必要とされ続けている渋沢栄一の精神を広く国民に発信する。
- (2) これまで培ってきた新型コロナウイルス感染防止対策の経験を活かしながら、生まれ変わった常設展示の普及を行い、無理のない「地に足の着いた」事業を行う。
- (3) 働き方改革を重点的に推進し、これからの社会に対応しながら財団運営を行っていく。

2. 研究企画・史料館グループ

(1) 重点事項（研究センター）

イ. 『渋沢栄一と「フィランソロピー」』シリーズ出版を着実に行う。

ロ. 「論語とそろばん」に関する新規プロジェクト準備に着手する。

(2) 事業内容（研究センター）

イ. 寄付講座

(イ) 華中師範大学寄付講座

ロ. プロジェクト研究成果の出版

(イ) 比較思想プロジェクト

(ロ) フィランソロピーシリーズ出版

(ハ) 産業技術導入における実業家のリーダーシップ

ハ. 渋沢栄一研究の促進

(イ) 論語とそろばんセミナー

(ロ) 合本主義

(ハ) 儒商会議

(二) 協賛・助成・支援事業

ニ. 新規プロジェクト準備費

ホ. 運営費

(3) 重点事項 (史料館)

コロナ禍で、従来の入館者数や収益は見込めないと思われる。しかし、2021 年 4 月からは、この状況に屈することなく成長しつづける常設展示の第 2 弾として、デジタル・コンテンツの運用を実施していく。また、大河ドラマや新札肖像などで、渋沢栄一に興味関心が高まるなかで、当館にしかできない博物館活動を実施していく。

(4) 事業内容 (史料館)

イ. 資料整備事業

渋沢史料館のコレクションを維持、管理していく。

(イ) 本館の収蔵庫・書庫、展示室等の除塵をはじめ、清掃を実施する。
また、館内環境を調査し、よりよい環境を目指す。

(ロ) 資料の整理・保存の観点から必要となる備品、用品等を購入する。

(ハ) 資料のマイクロフィルム撮影や複製の製作などの整備を実施する。

ロ. 展示事業

リニューアルオープンに伴い、事業を縮小していたが、今年度より事業を通常の活動・ペースにもどしていく。その一つとして、企画展を（今秋・来春）再開する。

(イ) 企画展（今秋・来春）の実施および次年度以降の企画展準備と調査研究

(ロ) 常設展示の展示替え、収蔵品展などの開催
(ハ) 常設展示のうち、デジタル・コンテンツの追加
<p>ハ. 教育普及事業 感染症が落ち着き、事業展開が可能となった際には、講座の開催、建築プログラムなどの事業を開催する。</p>
(イ) 外部から依頼された出張授業・講座への対応を行う
(ロ) 渋沢栄一命日記念企画『青淵忌』の開催
(ハ) 講座「渋沢栄一の漢詩」の実施
(ニ) 重要文化財の「動態保存」の継続
<p>ニ. 図書刊行事業 博物館活動を記録化した『年報』をはじめ、渋沢栄一漢詩訳注本、当館の英文パンフレットやガイドブック等の刊行を行う。また『渋沢研究』の補助・支援を行う。</p>
(イ) 『渋沢史料館年報』の編集・刊行
(ロ) 渋沢栄一漢詩訳注本の制作
(ハ) 当館での配布物やガイドブックの制作
(ニ) 『渋沢研究』刊行の補助・支援

ホ. 調査研究事業
博物館活動の充実を図るため継続的に館内外での活動を実施する。特に 2021 年度は資料のデジタル化を飛躍させる。近年依頼の多い渋沢栄一関連写真資料の貸出に伴う、電子対応を検討する。

- (イ) 『徳川慶喜公伝』調査研究、渋沢栄一漢詩訳注制作など
- (ロ) 写真資料の貸出に伴う電子対応の検討
- (ハ) 調査・研究活動を軸にして博物館活動を充実させる
- (ニ) 他の博物館等の視察し、展示手法、施設運営、博物館活動の全体を学ぶ

ヘ. 史料館運営

- (イ) 来館者に安心してご見学頂ける体制を整える。館内環境を維持する。受付および警備員の雇用、感染症の対策（消毒・清掃）、修繕・定期点検など
- (ロ) 渋沢史料館の PR。渋沢栄一をはじめ渋沢史料館の活動を広域に周知広報、HP での事前予約システムの継続など
- (ハ) 史料館資料の充実。館蔵資料をより充実させ博物館活動の基礎を固める。継続して資料や図書の購入を行い、活用を図る。また近年増加傾向にある、渋沢栄一のメディア掲載物の収集を行い、館蔵資料として保管活用する。
- (ニ) 「青淵商店」の充実。オリジナルグッズを充実させることで、来館者により一層楽しんでいただき、期待を膨らませる。

ト. その他

- (イ) 国指定重要文化財 晩香廬と青淵文庫の内部公開

3. 情報資源グループ

(1) 重点事項

イ. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』
全文公開へ向け、別巻公開開始

ロ. 渋沢栄一関連コンテンツ
「わがまちの渋沢栄一」ウェブ版、デジタル版『論語と算盤』作成

ハ. 機関リポジトリ
JAIRO Cloud を利用して財団リポジトリの開設

(2) 事業内容

イ. 各種情報資源の開発

(イ) 社史プロジェクト

A. 渋沢社史データベース (SSD) / 変遷図
SSD : 定期更新ほか / 変遷図 : 変遷調査、データ追加・修正

B. 企業史料プロジェクト
ビジネス・アーカイブズ振興のため、ベストプラクティスの調査・発信。メールマガジンによる知識・理解の普及。「企業史料ディレクトリ」改訂

(ロ) 実業史錦絵プロジェクト
実業史錦絵および渋沢栄一関連絵葉書の蒐集・整理・情報資源化

(ハ) 渋沢関連情報資源の開発

A. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』 別巻公開開始、利便性向上、著作権処理
B. 渋沢栄一関連コンテンツ作成・更新・維持
C. 渋沢栄一関連情報の国際的な発信の充実・強化 (英訳網文追加公開)
D. 渋沢栄一関連情報データベースの更新・整備

ロ. 実業史研究基盤整備

(イ) 実業史研究基盤整備

A. 図書資料購入・整理・保存、書庫環境整備、調査・研究用データベース購読など
B. 機関リポジトリ開設、財団刊行物の情報資源化、記事索引作成など
C. 「情報プラットフォーム (旧・渋沢栄一情報資源専用プラットフォーム)」保守

(ロ) 国際協力活動、ネットワーク構築
海外普及推進準備

(ハ) 環境整備
教育訓練費、備品等購入、諸会費、PC 関連、ウェブページ制作など

ハ. 協力事業

(イ) 渋沢敬三 50 年記念事業
ウェブサイト「渋沢敬三アーカイブ」維持・管理

公益財団法人渋沢栄一記念財団 2021 年度事業計画及び収支予算

2021 年度 正味財産増減計算予算

(単位：千円)

科 目	2021 年度						
	公益目的事業会計					法人 会計	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	公益 目的 事業費 計		
I 経常増減の部							
1.経常収益							
(1) 財産運用収益	0	0	0	275,539	275,539	36,609	312,148
(2) 会費収益	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000
(3) 事業収益	520	0	3,480	0	4,000	0	4,000
(4) 寄付金・補助金収益	0	0	0	1,000	1,000	0	1,000
(5) 雑収益	0	0	0	100	100	0	100
経常収益計	520	0	23,480	276,639	300,639	36,609	337,248
2.経常費用							
給与	12,614	24,543	71,434	0	108,591	6,492	115,083
役員報酬	7,157	5,040	9,727	0	21,924	4,276	26,200
法定福利費	1,562	5,580	12,928	0	20,070	1,606	21,676
福利厚生費	328	690	2,861	0	3,879	455	4,334
水道光熱費	589	1,523	3,613	0	5,725	475	6,200
リース料	448	2,432	3,838	0	6,718	469	7,187
維持管理費	816	2,561	5,624	0	9,001	999	10,000
賃貸料	154	387	896	0	1,437	163	1,600
臨時雇賃金	360	5,550	3,600	0	9,510	360	9,870
消耗品費	308	166	1,513	0	1,987	123	2,110
教育訓練費	66	62	20	0	148	12	160
通信運搬費	582	884	3,845	0	5,311	200	5,511
交通費	448	518	906	0	1,872	300	2,172
旅費	347	142	461	0	950	0	950
広報費	542	253	2,131	274	3,200	0	3,200
会議費	873	66	541	0	1,480	850	2,330
渉外費	300	20	100	0	420	500	920
備品費	80	360	480	230	1,150	250	1,400
新聞図書費	13	25	43	0	81	19	100
修繕費	107	213	873	257	1,450	50	1,500
倉庫保管費	30	0	900	0	930	0	930
支払手数料	331	61	513	76	981	24	1,005
租税公課	0	0	0	0	0	50	50
支払保険料	86	172	301	211	770	30	800

公益財団法人渋沢栄一記念財団 2021 年度事業計画及び収支予算

諸会費	148	335	372	196	1,051	49	1,100
支払報酬	167	335	582	0	1,084	1,716	2,800
業務委託費	3,310	5,953	18,543	0	27,806	1,834	29,640
謝礼金	850	1,920	400	0	3,170	0	3,170
図書資料購入費	200	300	700	0	1,200	0	1,200
資料購入費	0	100	1,000	0	1,100	0	1,100
調査研究費	0	4,910	120	0	5,030	0	5,030
資料整備費	0	1,032	1,800	0	2,832	0	2,832
図書刊行費	2,700	0	12,000	0	14,700	0	14,700
販売物購入費	0	0	1,300	0	1,300	0	1,300
展示制作費	0	0	5,750	0	5,750	0	5,750
事業企画費	0	0	0	0	0	0	0
原稿料	0	0	4,640	0	4,640	0	4,640
補助・支援費	2,000	0	1,200	500	3,700	0	3,700
関連業事費	0	0	200	0	200	0	200
助成金支出	0	0	0	0	0	0	0
PC 関連費用	35	2,281	159	71	2,546	100	2,646
デジタルコンテンツ制作費	0	2,030	0	0	2,030	0	2,030
Web ページ制作費	43	1,636	787	82	2,548	40	2,588
雑費	0	50	0	0	50	0	50
賞与引当金	684	2,056	5,392	0	8,132	711	8,843
減価償却費	0	0	0	140,368	140,368	2,263	142,631
退職給付費用	835	1,626	5,601	0	8,062	289	8,351
役員退職慰労給付	613	402	813	0	1,828	272	2,100
経常費用計	39,726	76,214	188,507	142,265	446,712	24,977	471,689
評価損益等調整前当期計上増減額	-39,206	-76,214	-165,027	134,374	-146,073	11,632	-134,441
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
3. 当期経常増減額	-39,206	-76,214	-165,027	134,374	-146,073	11,632	-134,441
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-134,441
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	12,207,019
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	12,072,578
IV 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	12,072,578